

〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	2節2項	快適で安心して暮らせるまちづくり
担当課・係名	環境課 環境係【問合せ・質問等の先(内線番号)			172番】

業務の名称	公害・その他環境用務衛生に関する業務						
(1) 根拠法令・条例	騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例、長久手町美しいまちづくり条例						
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の20.0% (係の総業務量を100%とする) 職員延人数：180.0人・日 (臨時雇用者延人数：__人・日)						
(3) 事業費 (人件費分を除く)	2,914千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))						
(4) 補助率(補助金がある場合のみ記載)	_____% (平成19年度実績)						
(5) 業務期間	開始した年度	年度	終了(予定)年度	年度			
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)							
①□業務目的(達成目標)	様々な環境阻害要因や苦情に対し、原因調査や立ち入り検査や環境調査を行い環境の保全に努める。						
②業務が対象とする住民(地域、層)	町民全体						
③業務の具体的な実施内容・方法(平成19年度実績)	① 現地調査 ② 原因者の調査、立ち入り ③ 原因者との立会又は連絡通知						
④業務の実施結果(平成19年度実績)	現場確認等を行い、原因を特定し、対応を行った。						
	【業務結果の説明指標】						
	結果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
1	騒音	15	18	14	13		
2	悪臭	37	72	27	24		
3	雑草	173	203	150	135		
4							
5							
⑤業務の成果(業務目的の達成状況)(平成19年度実績)	公害等の発生源となる施設(浄化槽)の適正管理の啓発を行った。						
	【業務成果の説明指標：基本計画準拠】						
	成果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標
1	浄化槽清掃業務の案内	572	254	260	218		
2							
3							
4							
5							

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）

- ・ 苦情内容が個人の感覚による場合、対応に苦慮することがある。
- ・ 従来からある生活様式と新しい生活様式との軋轢に苦慮することがある。

(8) 改善実績（過去3年間の実績）

- ・ 雑草苦情については、年々減少することができている。

(9) 業務の評価（自己診断）

評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	4点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3点
		平均 3.2点

(10) 総合評価（課の見解）

①今後の方向 (該当番号に○印)	<ul style="list-style-type: none">① 前年度と同じく、そのまま継続する。2. 見直して継続（業務の拡大）3. 見直して継続（業務の縮小）4. 見直して継続（方法の改善）5. 見直して継続（他業務と統合）6. 廃止する。7. 休止する。
②評価理由	環境を取り巻く問題は年々複雑になっているが、生活環境の向上に努める。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）

複雑化している環境問題に対応できるように、対応体制の強化を進める。